

BANKオンラインセミナー

長期・積立・分散投資の重要性



本資料は情報提供を目的としてあおぞら投信が作成した資料であり、特定の商品の勧誘を目的とするものではありません

元本割れリスクは避けたいという方には元本保証の預金、「[BANK The定期](#)」をご用意しております。
お客さまの投資のご経験や運用のご方針などによっては投資性商品をご購入いただけない場合があります。ご自身の投資経験やリスク許容度、相場見通しにあった運用方法を是非ご検討ください。



セミナー資料
2022年10月

BANKオンラインセミナー 長期・積立・分散投資の重要性



AOZORA

あおぞら投信

商号等: あおぞら投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2771号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会

講師紹介

講師/ゲスト紹介

<講師>

あおぞら投信株式会社
取締役会長 柳谷 俊郎



1985年日本債券信用銀行（現：あおぞら銀行）入行
国際証券部、ロンドン支店、市場証券部などを経て、リテール
部門で投資信託の企画・開発に携わる。2014年にあおぞら
投信を設立し、代表取締役社長を経て2017年7月より現職。
全国でセミナー・講演等行っている。

また、2022年4月より、全国コミュニティFM番組「週刊Nobby
タイムズ」に第2、第4木曜日に出演。知っておきたい経済のト
ピックをパーソナリティのDJ Nobby氏と共に解説している。

<ゲスト>

DJ Nobby氏

経済ニュースキャスター/コンプライアンスのスペシャリスト



外資系金融機関に新卒入社、外国為替ディーラーやクレジット
リスク管理などを担当。その後、東京金融取引所に転職、FXの
取引監視や上場企画等の仕事に従事。その後、米系保険会
社にて金融コンプライアンスリスク分析のマネージャーを歴任。

全国放送ラジオ番組2本レギュラー出演/プロデュース中。

ラジオ全国コミュニティFM番組「DJ Nobby's Tokyo
LIVE!!」メインパーソナリティを務める傍ら、フォロワー7.9万人を
超える経済情報チャンネル音声プラットフォームVoicyで「昨日の
経済を毎朝5分で！」を配信中。

～長期・積立・分散投資の重要性～

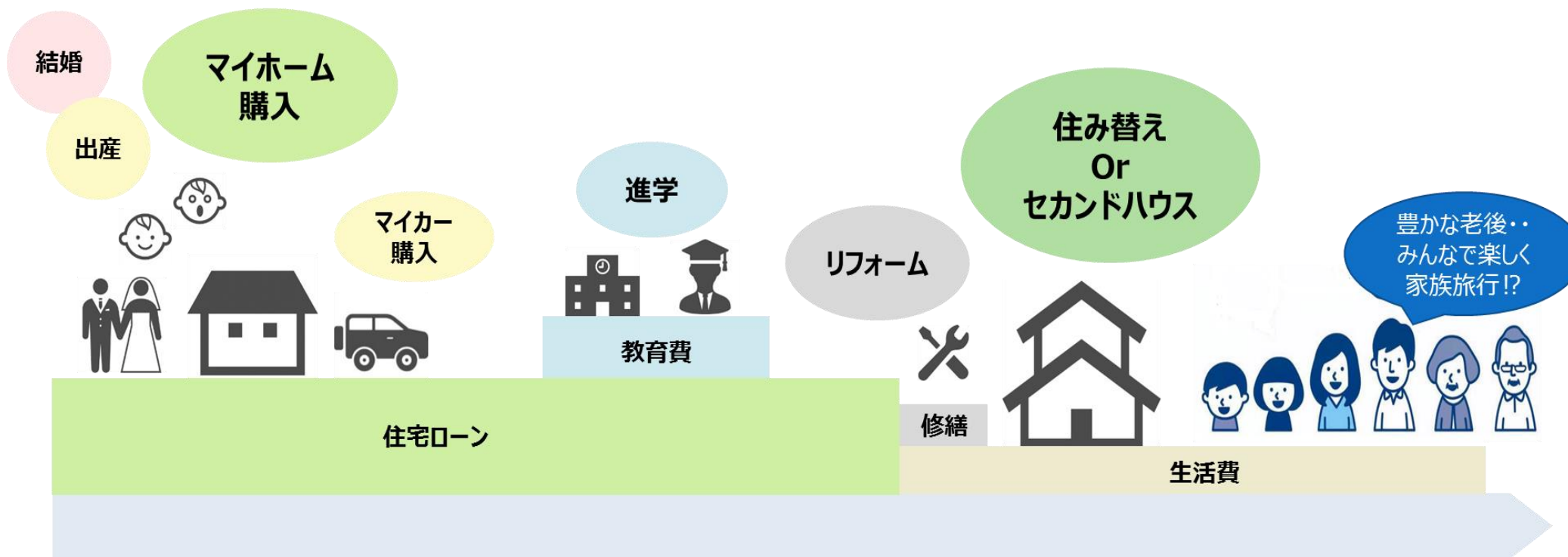
- ① ライフサイクルから考える将来設計
- ② 預金以外で将来に備えていますか？
- ③ 「時間」は資産運用で最大の武器のひとつ？
- ④ 資産を育むための資産構成とは？
- ⑤ お金が働く場所とは？

<ご参考> 時間をかけて資産を育んだ結果（過去のシミュレーション結果）

<まとめ>

①ライフサイクルから考える将来設計

人生にはイベントがたくさん！
皆さんは資産をどのように育み、豊かな将来に備えますか？



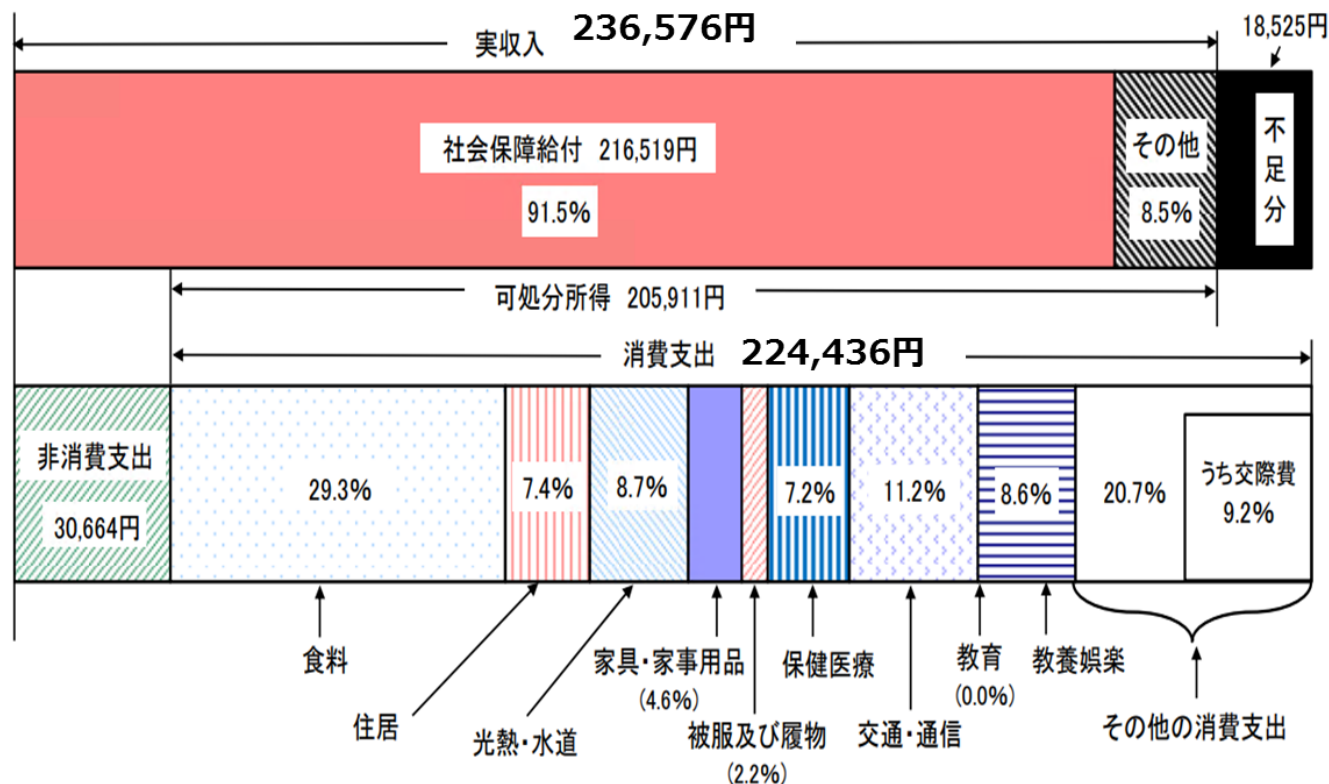
※上記はイメージであり、すべてのケースを示したものではありません。

①ライフサイクルから考える将来設計 ～ 老後の収支から考える備えとは？



平均的な収支から自分自身の収支をイメージしてみると・・・？

65歳以上の夫婦のみの無職世帯（夫婦高齢者無職世帯）の家計収支 – 2021年 –



2人で1食あたり：
722円？

食料 **約65,000円**
 住居 約16,000円
 家具・家事用品
 約10,000円
 被服及び履物
 約5,000円
 保健医療
 約16,000円
 教養娯楽
 約46,000円

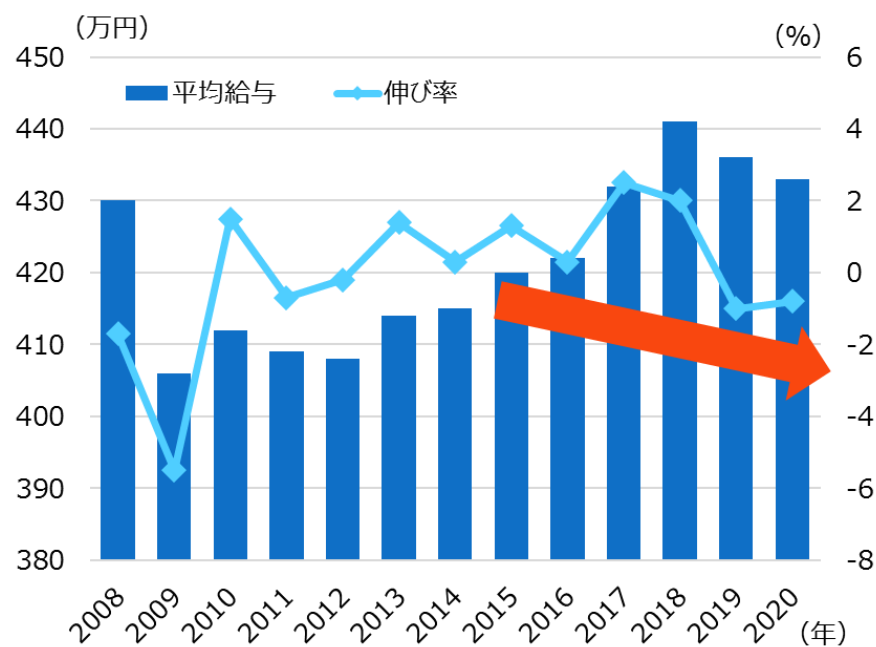
注意：1 図中の「社会保障給付」及び「その他」の割合（%）は、実収入に占める割合である。
 2 図中の「食料」から「その他の消費支出」までの割合（%）は、消費支出に占める割合である。
 3 図中の「消費支出」のうち、他の世帯への贈答品やサービスの支出は、「その他の消費支出」の「うち交際費」に含まれている。
 4 図中の「不足分」とは、「実収入」から「消費支出」及び「非消費支出」を差し引いた額である。
 出所：総務省統計局「家計調査年報（家計収支編）2021年（令和3年）」

①ライフサイクルから考える将来設計 ～ 物価の上昇への対策は？

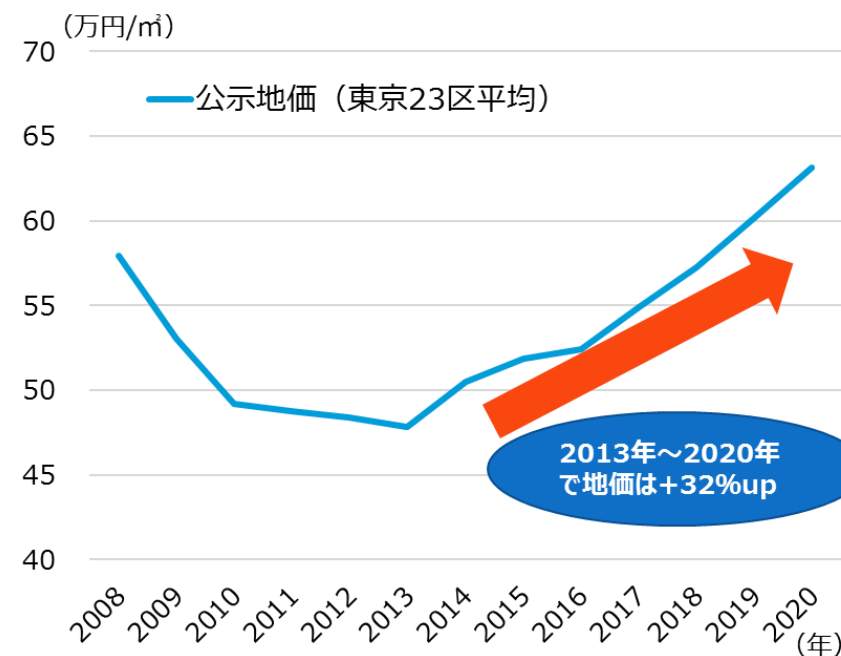
人生最大のお買い物…マイホーム…

平均給与は近年減少傾向である一方、東京23区の住宅公示価格は上昇。

平均給与と伸び率



東京23区の住宅公示地価の推移



例えば土地の価格が7年間で32%アップ。物価の上昇に対抗する術として、給与の伸びへの期待ではなく、自分自身の資産を運用するという方法が一つ必要なのではないでしょうか。

出所: (上図左) 国税局『民間給与実態統計調査』(令和2年)
(上図右) 国土交通省HP

②預金以外で将来に備えていますか？



ポイントを整理して、時間軸に合わせた運用を考えてみましょう

<少し遠い将来の話題>

自分には関係ない？

将来のことなのでピンとこない？

老後2,000万円問題

住宅購入

深刻な少子高齢化

人口減少

<直近の身近な話題>

最近の物価上昇は、
一人ひとりの家計に影響...

物価が高騰

値上げラッシュ

賃金が上がらない

家計不安

給与水準が劇的に上昇しなくても、まとまった資金がなくても、時間をかけて少しずつコツコツと資産を育む



長期・積立・分散投資

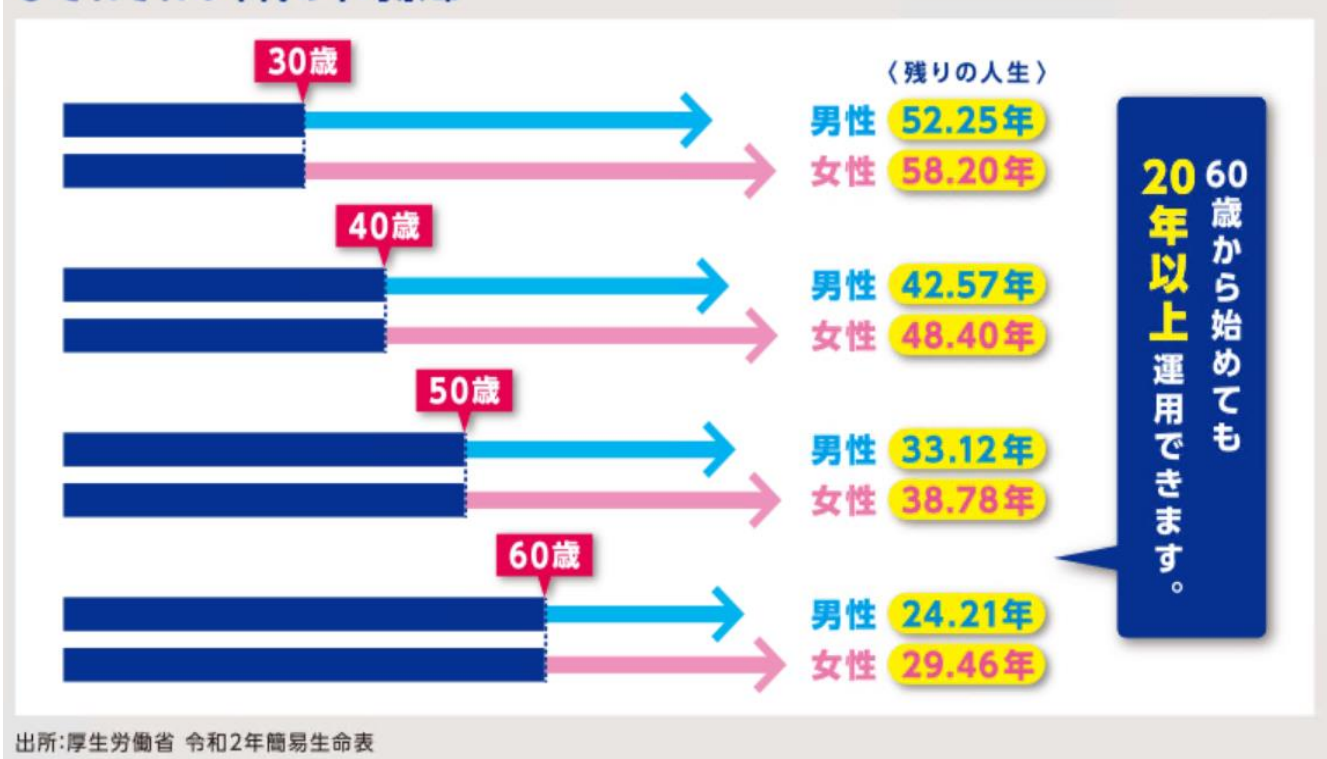
③「時間」は資産運用で最大の武器のひとつ？



ポイントを整理して、時間軸に合わせた運用を考えてみましょう

老後までの時間はどれくらい？

●それぞれの年代の平均余命



人生100年時代と言われるとおり、投資する時間（期間）は意外とあるのです。

★20年かけて同じ金利で運用した場合は・・・？

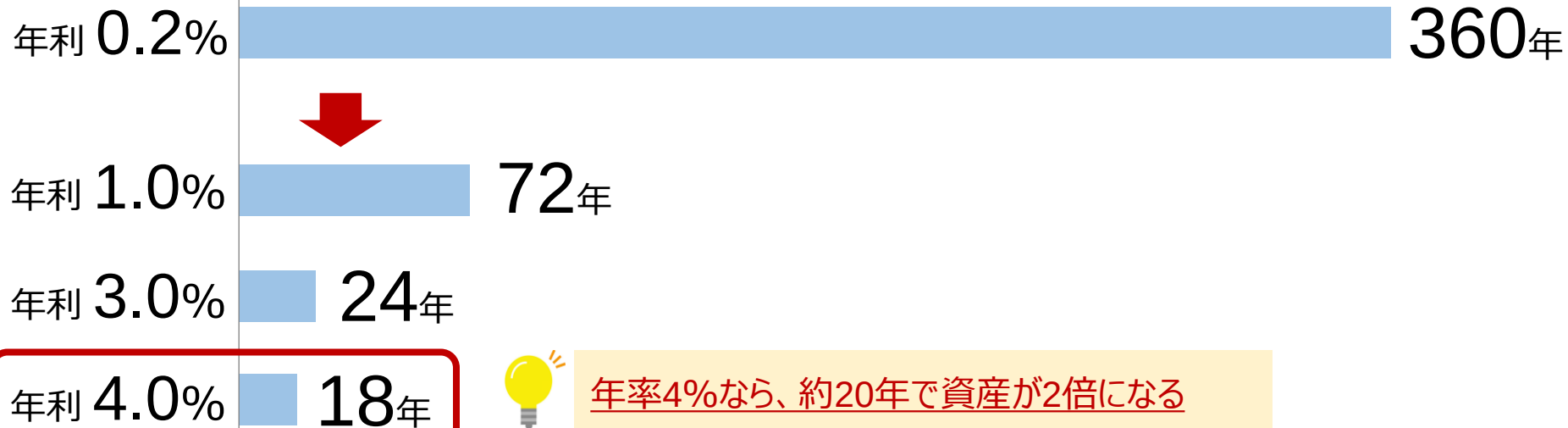
⇒次のページへ

③「時間」は資産運用で最大の武器のひとつ？ ～ 72の法則

72の法則「複利で運用する場合に、お金が2倍になる期間を知るための計算」

$$72 \div \overset{\text{利回り}}{\square} = \overset{\text{年数}}{\square} \quad \text{年で資産が倍に}$$

<お金が2倍になる期間>

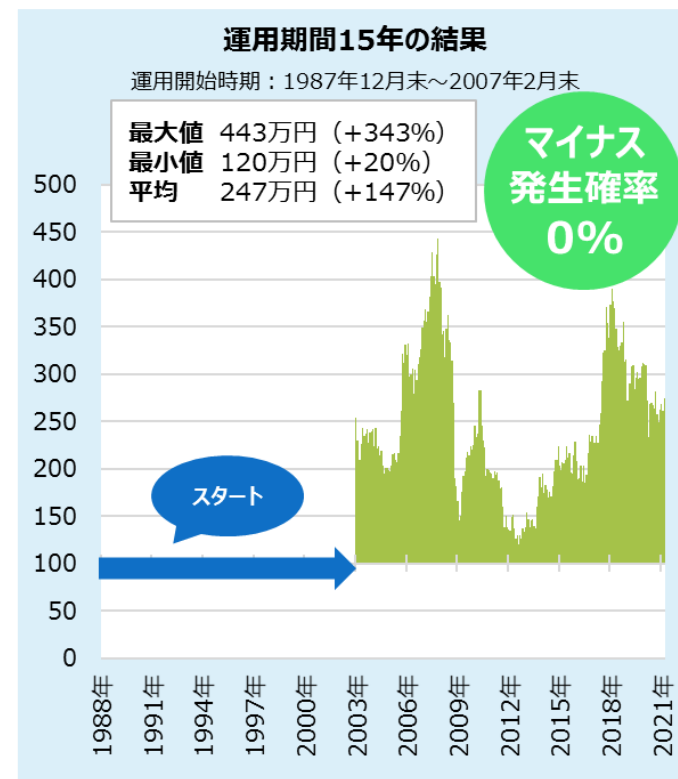
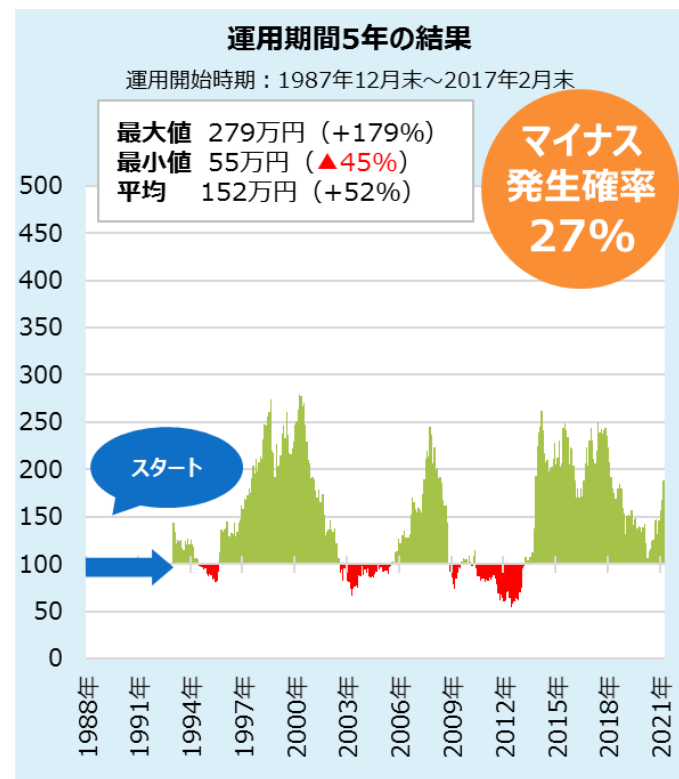
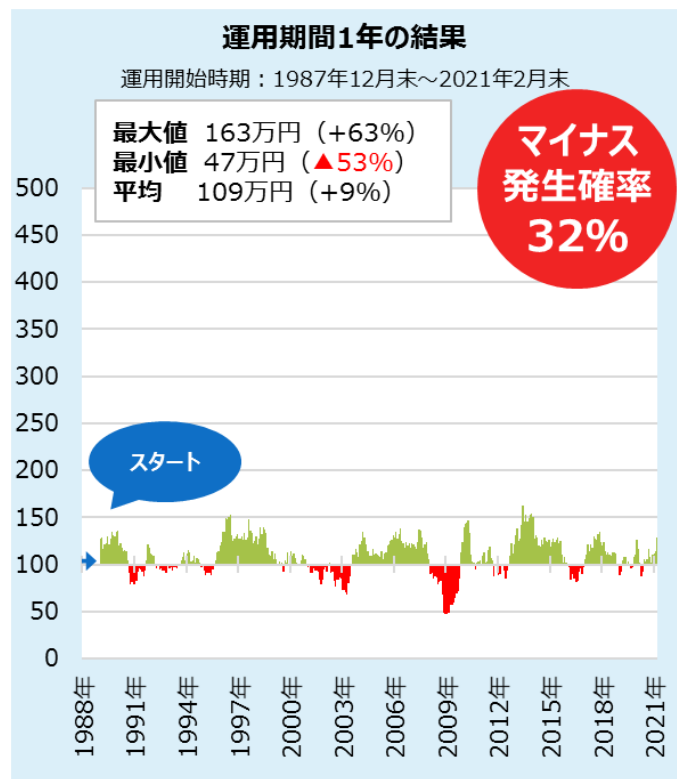


預金のままなら、年0.2%の金利でも資産が2倍になるのに360年かかる

年率4%なら、約20年で資産が2倍になる

③「時間」は資産運用で最大の武器のひとつ？ ～ 世界株式への投資

世界株式に投資した場合の比較図



上記グラフは、1987年12月末以降の各月末に運用を開始した場合の1・5・15年間のリターンとその最大値、最小値、平均値を示したものです。また、実際の運用に係わる費用は反映していません。上記は、**過去のインデックスに投資をした場合のシミュレーション結果であり、運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。**世界株式：MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（グロス配当込み、円換算ベース）出所：MSCI Inc.からのデータに基づきあおぞら投信が作成

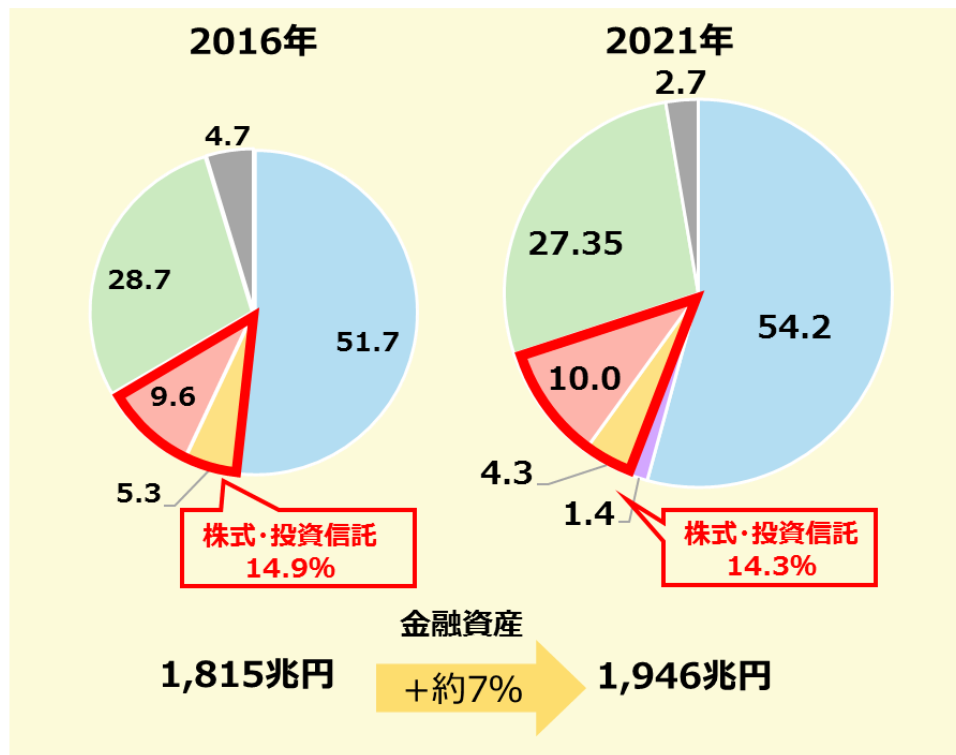


過去の実績で見ると、運用期間15年以上だと、いつから運用を開始してもプラスになりました。

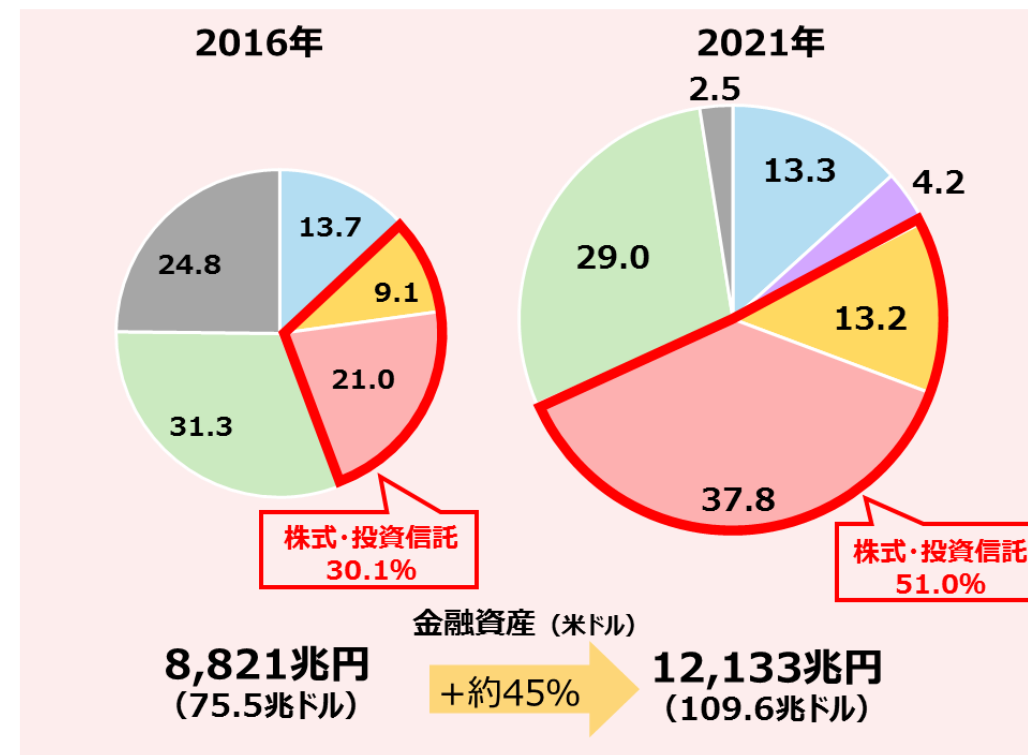
④資産を育むための資産構成とは？ ～ 家計の金融資産の構成

家計の金融資産の構成 日本と米国の比較(2021年3月)

日本



米国



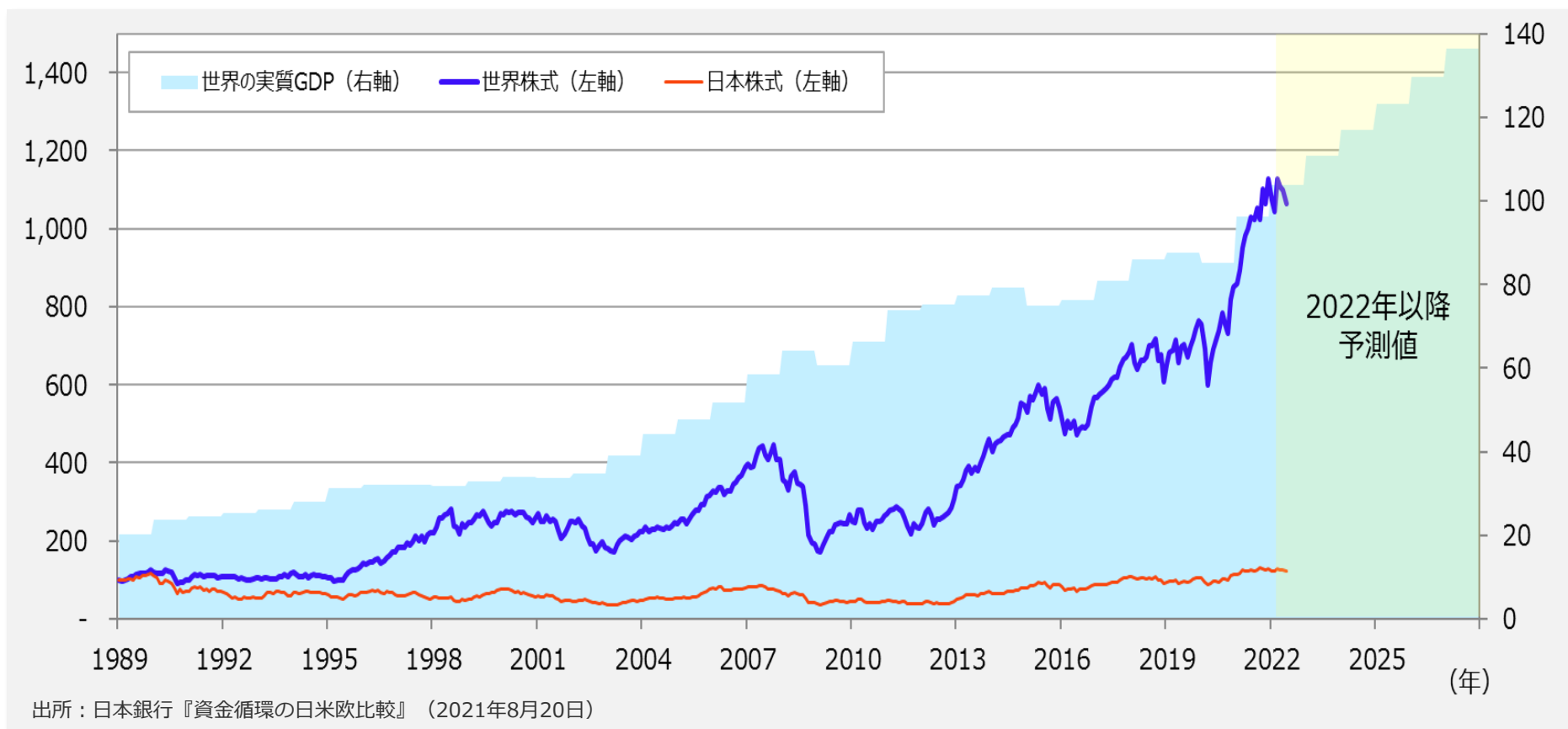
出所：日本銀行『資金循環の日米欧比較』（2021年8月20日）



米国と比較して、日本はこの5年で株式・投資信託の保有割合の変化がほとんどなく、米国は株式・投信の割合が約20%増加しています。

⑤お金が働く場所とは？ ～ 世界の成長率とその反映である株式市場

世界の実質GDP（1989年～2026年、2022年以降は予想値）と世界/日本株式指数（1989年1月末～2022年6月末）の推移



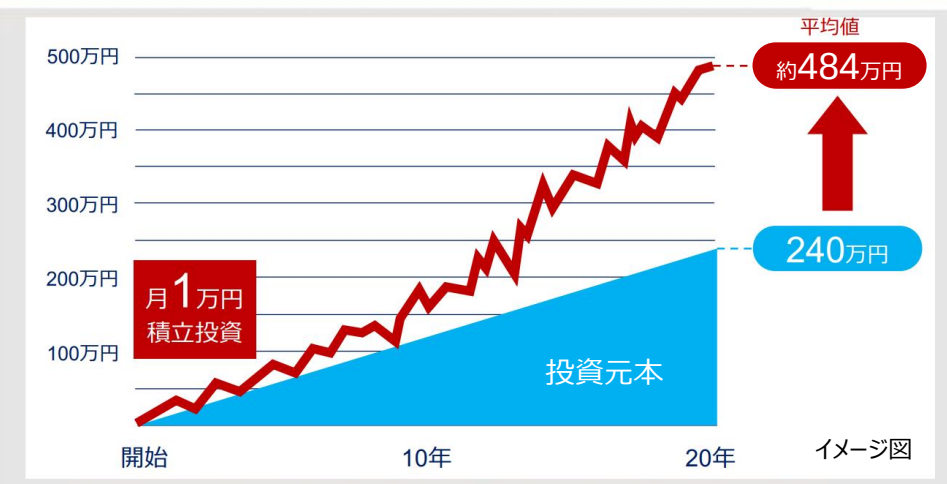
世界経済は、今後も成長を続けると考えます。資産を育む方法としての「世界株式」への投資は一つの方法とされています。

⑤お金が働く場所とは？ ～ 投資期間20年から学ぶ

過去の世界株式に投資をした場合のシミュレーション結果

コツコツ毎月1万円を世界株式に積立投資

世界株式に積立投資した結果

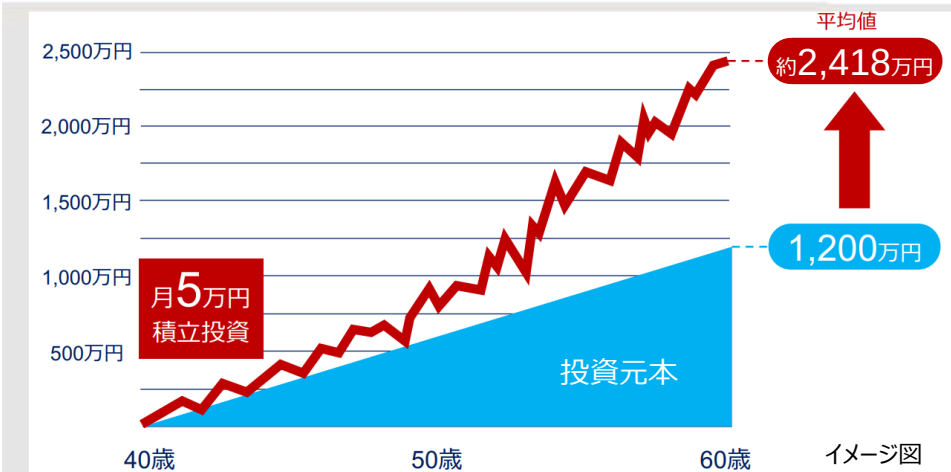


(月1万円) 世界株式への
積立投資を続けた結果、20年で約484万円 (平均値)

💡 大きなライフイベントに備えた生活の実現へ

40歳から毎月5万円を世界株式に積立投資

世界株式に積立投資した結果



(月5万円) 世界株式への
積立投資を続けた結果、20年で2,418万円 (平均値)

💡 「老後2,000万円問題」の解決へ

上記グラフは、1987年12月末以降に毎月10,000円、50,000円を積み立て投資した場合の平均値を示したものです。また、実際の運用に係わる費用は反映していません。上記は、**過去のインデックスに投資をした場合のシミュレーション結果であり、運用成果を示唆あるいは保証するものではありません**。世界株式：MSCIオール・カンTRIES・ワールド・インデックス（グロス配当込み、円換算ベース）出所：MSCI Inc.からのデータを基にあおぞら投信が作成

本資料は情報提供を目的としてあおぞら投信が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨（有価証券の取得の勧誘）を目的とするものではありません。本資料最終ページの「本資料に関してご留意頂きたい事項」を必ずご覧ください。

<ご参考> 時間をかけて資産を育んだ結果（過去のシミュレーション結果）



投資成果：20年だと最小値でも元本割れはしない結果に。最大値では3倍以上となりました。

	10年間 世界株式に積立投資	20年間 世界株式に積立投資
1万円/月	120万円 投資元本 ➡ 最大値 約283万円 平均値 約186万円 最小値 約79万円	240万円 投資元本 ➡ 最大値 約789万円 平均値 約484万円 最小値 約243万円
5万円/月	600万円 投資元本 ➡ 最大値 約1,417万円 平均値 約929万円 最小値 約397万円	1,200万円 投資元本 ➡ 最大値 約3,945万円 平均値 約2,418万円 最小値 約1,217万円
10万円/月	1,200万円 投資元本 ➡ 最大値 約2,835万円 平均値 約1,858万円 最小値 約793万円	2,400万円 投資元本 ➡ 最大値 約7,890万円 平均値 約4,836万円 最小値 約2,433万円
50万円/月	6,000万円 投資元本 ➡ 最大値 約1億4,175万円 平均値 約9,290万円 最小値 約3,966万円	1億2,000万円 投資元本 ➡ 最大値 約3億9,452万円 平均値 約2億4,180万円 最小値 約1億2,166万円

上記グラフは、1987年12月末以降に毎月1万円、5万円、10万円、50万円を積み立て投資した場合の最大値、平均値、最小値を示したものです。また、実際の運用に係わる費用は反映していません。上記は、過去のインデックスに投資をした場合のシミュレーション結果であり、運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。世界株式：MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（グロス配当込み、円換算ベース） 出所：MSCI Inc.からのデータを基におおぞら投信が作成

本資料は情報提供を目的としておおぞら投信が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨（有価証券の取得の勧誘）を目的とするものではありません。本資料最終ページの「本資料に関してご留意頂きたい事項」を必ずご覧ください。

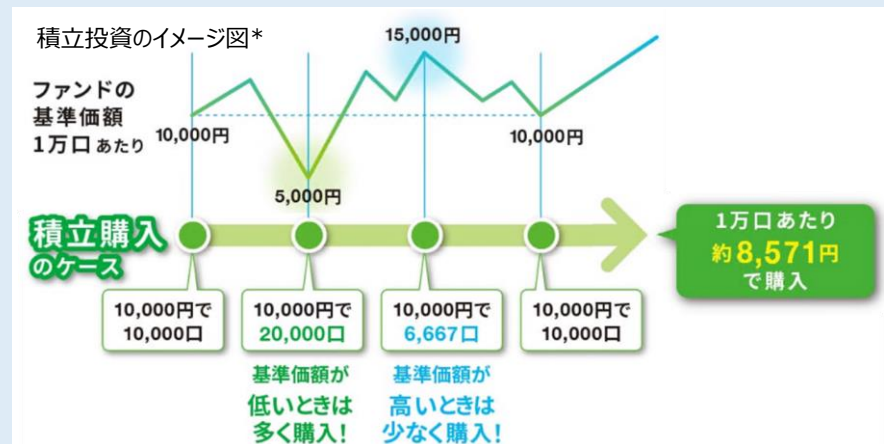
まとめ

投資を始める不安やストレス..

1. 投資は難しそう。何を選んだら良いのかを自分で考えて売り買いするなんて、よく分からないな・・・。
2. 一括購入だと、マーケットを見ながらいつ買っていつ売るかを自分で決めないといけない。下落するストレスは抱えたくないな・・・
3. 一括購入だと、高値で買ってしまうと売却のタイミングが分からず、下落して売却すると大きな損がでてしまうので嫌だな・・・
4. まとまった資金がないとできないよね・・・

投資信託なら..

1. 投資信託は、運用のプロが選んだ銘柄にまとめて投資ができるので、個別銘柄の管理の必要はありません。
2. 自動積立投資なら、毎月淡々と決まった額を自動的に投資するので、購入時期を考える必要がありません。
3. 積立投資なら、投資のタイミングを分散できるので、ドルコスト平均法を活用して、リスクの低減を図れます。
4. まとまった資金がなくてもOK！



～ 資産形成への近道とは ～

一喜一憂しない投資 = リラックスが生み出すゆったりコツコツ積立投資

* 積立投資のイメージ図：時間分散効果をより深くご理解いただくためのイメージであり、シミュレーションではありません。投資信託は値動きのある有価証券等に投資するため、基準価額は変動します。あくまでも一般的な時間分散効果について解説したものです。将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではなく、すべてのケースを網羅しているものではありません。購入タイミングによっては一括投資のケースの方が購入単価が安くなることもあります。出所：おおぞら投信が作成

本資料は情報提供を目的としてあおぞら投信が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨（有価証券の取得の勧誘）を目的とするものではありません。本資料最終ページの「本資料に関してご留意頂きたい事項」を必ずご覧ください。

本資料に関してご留意頂きたい事項

<本資料全体に関するご留意事項>

■本資料は、あおぞら投信株式会社（以下、「あおぞら投信」といいます。）が作成したセミナー資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。本資料は、あおぞら投信が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、あおぞら投信がその正確性・完全性を保証するものではありません。■本資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うことになります。■本資料に記載された市況や見通し、数値、図表、意見等は、本資料作成時点でのあおぞら投信の見解であり、将来の動向や結果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。

■本資料は情報提供を目的としてあおぞら投信が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨（有価証券の取得の勧誘）を目的とするものではありません。■本資料に記載された個別の銘柄・企業・指数については、あくまでも例示をもって理解を含めていただくためのものであり、いかなる個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等の行為を推奨するものではありません。■本資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。■本資料に掲載されている全ての内容の著作権・肖像権等知的財産権は、当社または権利者に帰属します。したがって、本資料の一部または全部を複製すること、また弊社の書面を許可なく再配布することを禁じます。記載内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。



あおぞら投信

商号等：あおぞら投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2771号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

BANK™
BY AOZORA BANK

素晴らしい人生のための
マネーサービス

ご視聴いただき
ありがとうございました

